

愛媛県立医療技術大学 保健科学部

令和 7 年度

一般選抜（前期日程）入学試験問題

小論文〔和文〕

（100 分 100 点）

＜看護学科・臨床検査学科＞

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、問題用紙を開いてはならない。
- 2 問題用紙は 1 ページから 4 ページまでである。
- 3 解答用紙は 2 枚である。
- 4 問題用紙の印刷不鮮明，ページの落丁・乱丁または解答用紙の汚れ等により解答に支障がある場合は，手を挙げて監督者に知らせること。
- 5 解答用紙には受験学科・受験番号を所定の欄に記入すること。
- 6 解答用紙の※印欄は記入しないこと。
- 7 下書きは，下書き用紙を利用すること。
- 8 試験開始後 30 分間及び試験終了前 10 分間は退室しないこと。
- 9 解答用紙は必ず提出し，問題用紙と下書き用紙は持ち帰ること。

I (配点 50 点)

以下の文章を読み、問 1 および問 2 に答えなさい。なお、解答文に「」を記載する必要はありません。

著作権保護のため、公表していません。

著作権保護のため、公表していません。

出典 細谷功（2023）：やわらかい頭の作り方，筑摩書房，p39-43
（出題者により一部改変）

問1 パスカルが友人に出した手紙の最後で下線部（a）のように述べた意味は何か，文中の言葉を利用して150字以内で説明しなさい。

問2 「単純に考える」ことについて，本文の主張を踏まえながら，著者の考え方に対するあなたの考えを理由や根拠を示しながら300字以内で述べなさい。

Ⅱ（配点 50 点）

以下の文章と図をもとに，問 1 ～問 3 に答えなさい。

睡眠は，こども，成人（働く人），高齢者のいずれの年代においても健康増進・維持に不可欠な休養活動です。そのため，日常的に質（睡眠休養感）・量（睡眠時間）ともに十分な睡眠を確保することにより，心身の健康を保持し，生活の質を高めていくことは極めて重要です。

図 1 は，加齢に伴う睡眠・覚醒（昼夜）のメリハリの变化を示しています。

図 2 は，加齢に伴う客観的に測定された睡眠時間と床上時間（寝床に入っている時間）の变化を調べた結果を示しています。

著作権保護のため、公表していません。

図 1 加齢に伴う睡眠・覚醒（昼夜）のメリハリの变化

著作権保護のため、公表していません。

図 2 加齢に伴う客観的に測定された睡眠時間（棒グラフ）と床上時間（灰色塗り部分）の变化

図3は、成人（働く人）の睡眠時間・睡眠休養感と死亡リスクの関連について、
図4は、高齢者の床上時間・睡眠休養感と死亡リスクの関連について、それぞれ調べた結果を示しています。死亡リスク 1.0 倍を基準としています。両図の*は、基準よりも統計学的に偶然や誤差ではないと思われる差（有意差）が生じていた部分です。

著作権保護のため、公表していません。

図3 成人（働く人）の睡眠時間・睡眠休養感と死亡リスクの関連

著作権保護のため、公表していません。

図4 高齢者の床上時間・睡眠休養感と死亡リスクの関連

問1 図1と図2より、加齢に伴う変化について読み取れることを40字以内で答えなさい。

問2 図3と図4より、成人（働く人）と高齢者における死亡リスクについて、統計的に有意差があることを考慮して、読み取れることを110字以内で答えなさい。

問3 高齢者に推奨される睡眠を得るためにはどうすべきか、図1～図4より読み取れることをもとに、成人（働く人）との違いを含めて170字以内で答えなさい。

出典 厚生労働省 健康づくりのための睡眠指針の改訂に関する検討会 「健康づくりのための睡眠ガイド2023」（PDF版）より抜粋・改変（2024年11月参照）
<https://www.mhlw.go.jp/content/001305530.pdf>